

水道局だより

私たちの暮らしの中の水道 vol.5

令和元年9月16日発行
水道局

☎237-5811 FAX 237-5819

身近にある水道について知っていただくために、水道事業の現状・課題・経営状況をシリーズでお伝えしています。今回は水道事業会計の仕組みや、皆さんに支払っていただいている水道料金について紹介します。

厳しさを増す水道事業経営



前回、これから水道事業の経営が厳しくなって、将来、安定的な水道供給に支障が出るかもしれないって聞いたけど、どうして経営が厳しくなっていくの？



これからは人口減少などで料金収入は減ってしまうのに、老朽化した施設の更新や耐震化などで必要な事業はさらに増えていくんだ。

料金収入の減少

- 人口減少
- 洗濯機やトイレなどの節水機器の普及

必要な事業の増加

- 水道施設(水道管・浄水場など)の老朽化による更新、耐震化



老朽化した水道管の破損により陥没した道路

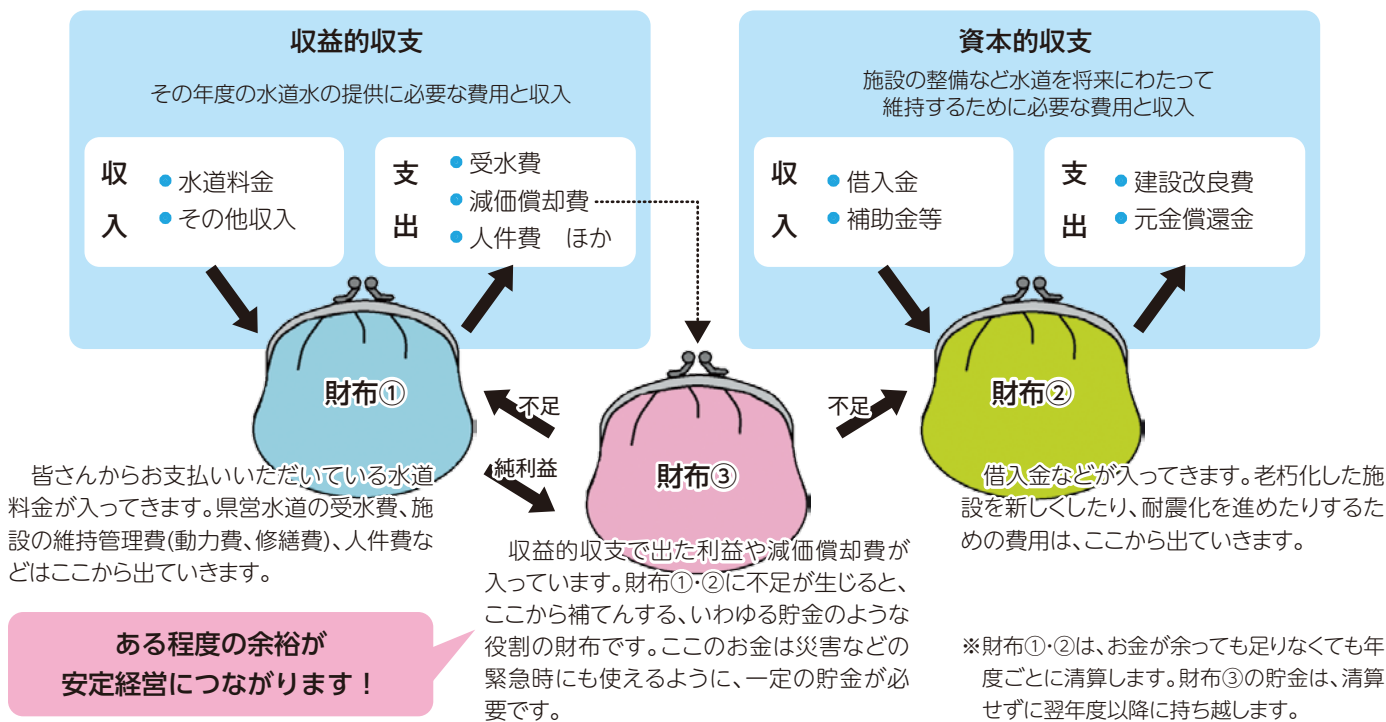


将来のための貯金があったと思うけど、それも無くなるの？



貯金のお話をするためには、水道事業会計の理解が必要だね。まずは仕組みを見てみよう。

水道事業会計の仕組み



水道事業は、税金ではなく皆さんからいただいた水道料金を主な財源とする「独立採算制」で運営しています。使用者の皆さん一人一人が水道事業を支えています。